

## シラバス (介護職員基礎研修)

指定番号 \_\_\_\_\_ 課程 介護職員基礎研修課程  
 法人・団体名 株式会社 松島紙店  
 課程編成責任者 小又幸成

研修区分 標準型(500時間) 実習免除型(300時間) 科目免除型(I)(200時間) 科目実習免除型(I)(60時間)  
 科目免除型(II)(350時間) 科目実習免除型(II)(150時間) 演習及び実習(実習事業者のみ)

科目番号・科目名	(4) 認知症の理解			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症の病理や症状、治療について学ばせる。</li> <li>認知症の方の支援の視点、ケアの原則を介護現場のリーダーとして学ぶ。</li> <li>認知症の方への援助方法を学ぶ。</li> <li>認知症の方の家族の立場を理解する。</li> <li>認知症を支える専門職の役割を学ぶ。</li> </ul>			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学 時間数	うち 通信 時間数	目標・講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 認知症の医学的背景の理解	6	6	0	《目標》健康な高齢者の「物忘れ」と、認知症による記憶障害の違いについて説明できる。認知症の基本障害と二次的に発生している問題とみなされがちな行動等の基本的特性、及びそれに影響する要因を説明できる。認知症と間違えられやすい症状について説明できる。 《講義内容》・年齢相応の物忘れと疾患としての認知症の区別等 ・認知症の問題となる基本障害と行動 ・認知症を引き起こす原因疾患と発生誘因 ・認知症と間違えられやすい症状 ・若年性認知症
② 認知症の心理学的理解	6	6	0	《目標》認知症の心理・行動の理解の考え方、ポイントについて説明できる。 《講義内容》・認知症の心理・行動モデル・症状と障害の考え方 ・問題とされる行動の捉え方と対応
③ 認知症の利用者への支援・介護の考え方	12	12	0	《目標》認知症の利用者への対応、及び介護の原則について、事例に基づいて説明できる。また、若年性認知症の特徴についても、同様に説明できる。認知症の利用者の健康管理上の留意点、廃用性症候群予防について、事例に基づいて説明できる。認知症の利用者への音楽療法、回想法、動作法、アクティビティ等の狙い、内容、及び生活場面での活用の視点について概説できる。 《講義内容》・介護の原則と観察 ・健康管理、廃用性症候群予防 ・生活環境・社会活動 ・コミュニケーション ・音楽療法、アクティビティ等・問題とされる行動(行動障害)と介護職員としてのとらえ方
④ 認知症介護における医療・保険・福祉サービスとの連携	6	6	0	《目標》認知症介護における医療・保険・福祉サービスとの連携の必要性及び実際について、事例に基づき説明できる。 《講義内容》・認知症介護における医療・保険・福祉、関係機関、地域資源との連携、及び自立支援のための地域による支えあい
⑤ 家族へのケア	6	6	0	《目標》家族の気持ちや、家族が受けやすいストレスについて説明でき、更に専門家として、家族とのかかわり方、対応について、事例に基づいて説明できる。 《講義内容》・家族の心理の共感的な理解 ・専門家としての関わり、対応の方法
修了評価				
(合計時間数)	36	36		

※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。

※ いくつかの項目をまとめて、時間数を設定しても差し支えない。

※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙4に定める時間以内とすること。

※ 通信学習を実施する項目については、通信学習課題を提示すること。(既に提示したものを除く。)